



＜校訓＞
敬愛 自主 剛健

未来橋

令和6年10月

高浜町立高浜中学校



Takahama Junior Highschool

豊かな発想と企画力に満ちた高中祭

「MASTER PIECE」のテーマのもと、2日間にわたり高中祭を開催しました。生徒一人一人の新たなつながりをつくり、世界に1つだけの高中祭を創りあげようとの生徒会の思いを受けて、全校生徒が一丸となり準備を進めてきました。

1日目は文化祭。全校生徒総出演の「オープニングムービー」にはじまり、吹奏楽部演奏や、装飾団旗の披露、体験ブース、色別劇場、オープン参加のステージ発表と、創意工夫が詰まった質の高い内容で終始大盛況となりました。



団結の汗と力みなぎる体育祭

2日目は体育祭。1日目に続き、3年生を中心になってリードしながら、各色対抗競技や、一致団結した応援合戦を繰りひろげました。フィナーレの「全校ダンス」は、全校生徒が一体となって踊り、感動の余韻を残し幕を閉じました。輪の中心のリーダーが懸命に旗を振り、それに応え全校生徒が心を一つに踊る姿から、苦労しながらもまた一つ大きな壁を乗り越えることができたという気持ちを体全体で表現している姿が胸を打ち熱くなりました。

猛暑の中、多くの保護者や地域の皆さんに足を運んでいただき、声援や励ましをいただきましたこと厚くお礼申し上げます。

プレーヤーとなって成長を実感

3年生の感想には、次のようなものがありました。「何をするにも『人の力』が大切だと感じた。開催に漕ぎ着けるのも『人』、



盛り上げるのも『人』、みんなの協力があつたからこそ、最高に楽しく充実した2日間を創り出せた。みんなにありがとうと言いたい。」「今まで楽しむ側で、楽しませる立場になってはじめて3年生はこんなに大変で、役割や責任が重いことに気づいた。夏休み中から何度も仲間と考えに考え、前日ギリギリまで準備や調整を重ね、頭の中は不安でいっぱいだった。みんなが楽しんでいる姿、一緒に盛り上げてくれている姿を目にした時、本当にやってよかったと実感できた。」どの生徒の感想にもその苦労や達成感、そして仲間への感謝などが綴られており、それぞれの成長がうかがえました。

引き続き、一人一人がこの経験から得た気づきを学校生活に活かし、さらに輝いていけるよう支援していきたいと思います。

持続可能な社会に向けた学びの機会



文化祭と並行して、PTAによる制服の譲渡会や図書委員による古本市を行いました。消費社会においては、経済性はもちろんのこと、限りある資源を有効に活用し物を大切にすること、また廃棄ごみが環境に与える影響について、家庭や地域の皆様の協力をいただきながら身近な問題として捉えていけるよう努めています。

保護者の皆様には、制服の提供や準備、当日の運営に多大なるご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

医療・介護の現場で活躍する方々に学ぶ

2年生対象に、地域の医療・介護従事者の方々から住民の生命や健康を守り支える仕事やネットワークについて学ぶ特別授業を行いました。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、臨床検査技師、放射線技師、救急救命士、介護福祉士など総勢27名の講師をお迎えし、各教室でそれぞれの仕事内容ややりがいについて話を聞いたり、簡単な実技を体験したりしました。

この授業をはじめ、秋の職場体験学習などを通して、生徒たちは、職業選択だけでなく、地域のくらしについても深く考える機会を得ています。地域の皆様のご協力・ご支援に感謝いたします。



バトンを引き継ぎ、新チームデビュー(若狭地区秋季新人大会)

9月27日(金)～29日(日)に若狭地区中体連秋季新人大会が開催されました。新チームとなって2ヶ月、2年生を中心にこれまでの練習の成果を発揮するため大会に臨みました。思い通りにプレーできなかつたこともあったかもしれません、その努力は決して無駄ではありません。この貴重な経験を今後の練習に活かして、互いに磨き合いながら、さらに成長していってほしいと思います。



地域とともに歩む高中生

9月29日(日)に灯音祭が和田公民館で開催されました。この祭は、路地祭に代わるイベントとして、高中生が発案したことにはじまります。館長をはじめ、地区の皆さんとの期待と応援に支えられ、生徒たちは地域の活性化に貢献できることに大きな意義を感じているようです。

この後にも、箱庭市(10/20)、はまなすマラソン(10/27)、高浜町秋の文化祭(11/3)などで、吹奏楽部演奏やブース出店、ボランティア活動など、様々な形で参加を予定しています。

これからも、地域に信頼され、貢献できる生徒の育成に努めていきたいと考えています。

